

令和5(2023)年度 事業報告

公益目的事業 (交通及び古瓦研究に関する学術振興事業)

1 交通・古瓦に関する顕彰事業 (住田奨励賞)

交通に関する各分野 (鉄道、海事、航空、物流) 及び古瓦・考古学において、優れた功績を残し社会に大きな貢献をした著作、論文、研究、着想等に対し顕彰を行った。

(1) 鉄道奨励賞

【学術論文部門】

- ・西山有紀子

「高度成長期における箱根一貫周遊ルート構築と観光開発の展開
ー箱根ロープウェイの経営を事例にー」

(『鉄道史学』第39号、2021年)

【図書部門】

- ・山本 志乃

『団体旅行の文化史ー旅の大衆化とその系譜ー』(創元社、2021/9/17)

【展示・企画部門】

- ・横浜市都市発展記念館 (神奈川県横浜市中区日本大通り12)

企画展「激震、鉄道を襲う！ー関東大震災と横浜の交通網ー」(2022/3/12-7/3)

特別展「横浜鉄道クロニクルー発祥の地の150年ー」(2022/8/6-11/6)

(2) 海事奨励賞 (海事、海事史、海事技術)

【海事】

- ・関根 博

『海難事例分析ー安全運航へ向けて』(海文堂出版 2022/12/9)

【海事史】

- ・応募作品なし

【海事技術】

- ・海洋建築研究会 編著

『海洋建築シリーズ 海洋建築序説』(成山堂書店 2022/6/26)

(3) 物流奨励賞

- ・松田 琢磨

『コンテナから読む世界経済ー経済の血液はこの「箱」が運んでいるー』

(KADOKAWA 2023/3/29)

(4) 航空奨励賞

- ・岩見 宣治、長谷川 武

『新訂 空港のはなし』(成山堂書店 2023/4/18)

(5) 古瓦・考古学研究奨励賞

・谷川 遼

「上神主・茂原官衙遺跡出土瓦の検討―造瓦工人単位の抽出と人名文字瓦の分析―」(『史観』第188冊 早稲田大学史学会 2023/3)

2 交通図書の発刊事業 (交通ボックス)

さまざまな交通に関する知識や情報を、わかりやすく提供することを目的に「交通ボックス」を発刊するものだが、内容確認の作業を確実にするため今年度内の発刊には至らなかった。

3 海事・古瓦資料の公開事業

故住田正一が収集した海事と古瓦の研究資料を、展示・保存施設を有する自治体に寄託し、学術的に優れた一級資料を展示した。

(1) 古瓦関係資料 ・武蔵国分寺跡資料館へ寄託中

(2) 海事関係資料 ・大和ミュージアム (呉市海事歴史科学館) へ寄託中

収益事業 (不動産貸付事業)

公益事業の事業活動資金に充てるため、住宅の貸付事業を実施した。

令和5(2023)年度事業報告書において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。